



習志野市立中央図書館

習志野市本大久保 3-8-19

TEL : 047-475-3213

ホームページ

<https://www.narashino-lib.jp>



どっくの(コ) 今年7月の別棟開館を前に今回は(にんじん)(コ) (ばん)(おもち)のティーンズコーナー歴代担当者が大久保図書館のティーンズコーナーを振り返ってみたよ!

小部屋
残念ながら参加予定だった(べん)はインフルエンザによりお休みでした…。

(にんじん) (ばん) (おもち)

大久保図書館ティーンズコーナーは2005年7月、児童コーナーの一角にひっそりと隠れ家的?に始まりました。ティーンズ担当者にはティーンズレターの発行やテーマごとの展示、アンケートやフリー投稿コーナーへのお返事書きなどの仕事がありました。

さあ、ではいってみましょう!!
Q1. 思い出に残っていることはなんですか?

【(にんじん)】
中学生や高校生に図書館に興味を持ってもらえるように、みんなで雑誌『セブンティーン』や『Katsukura』をひっくりかえして展示やティーンズレターのネタ探しをしたこと!

【(ばん)】
私は(おもち)が展示用に作った「ガンダム」のPOPと、「風の谷のナウシカ」のPOPだね。あれは力作だった。(POP:本屋さんでよく見かける本の紹介などを書いて飾ってあるカードなどのこと)他にも(おもち)の作品で冬季ロシアオリンピックの時の「ロシアのあれこれ」という展示の時の看板も立体的で力作だった。

【(おもち)】
その展示では(コロ)が銀色折り紙で雪の結晶を作り、天井からぶら下げたのも綺麗でしたね。

【(コロ)】
展示「文豪ナビ」の時の(ばん)が制作した文豪の顔を切り抜きで作った看板も感動モノの出来でした!キラキラしたおじさまいっぱいでしたね☆

【(ばん)】【(おもち)】【(にんじん)】
その時の『文豪ストレイドッグス』のアニメ放送に合わせた、(コロ)が壁に飾り付けた作品紹介もなんというか…力作でしたね。そして展示といえば最終展示「ティーンズコーナーの歴史」の時の、これまた壁一面にPOPやらこれまでの展示の写真を飾ったのも圧巻だったわぁ。 ↗

【(コロ)】壁に何か貼るのが好きで…。
【(コロ)】【(おもち)】
退職した(ちゃこ)の『なにをたべたかわかる?』『銀河鉄道の夜』のPOPも素敵でしたね。機会があればまた飾りたいです。

では続けてサクサクいきます!
Q2. 好きなティーンズレターの表紙は?

【(にんじん)】プレーメン
【(コロ)】冒険者、移動図書館
【(ばん)】雪だるま、紅のどっくん
【(おもち)】脱皮、農夫、探偵
今月号の表紙をぜひご覧あれ!

Q3. ティーンズ担当者になってから好きになった本は?

【(にんじん)】
『鳥居の向こうは、知らない世界でした。』
【(コロ)】
『雨の日のアイリス』『エスケープ・スピンド』『Blue』などの画集
【(ばん)】
「乙女の玉手箱シリーズ」
【(おもち)】
『フォーチュン・クエスト』『キノの旅』『文学少女』シリーズ
話はまだまだ尽きないのですが最後に…。

☆☆中学生や高校生のみなさんへ☆☆
児童書の名作や、教科書に出ているような文豪の作品などをぜひ読んでほしいです。言葉の選び方や表現力、考え方、人生の指針など生きていく上できっと役に立つはず…。あと職場体験に来てくれた学生さんからよく聞かれる「司書になるにはどうすればいいですか?」という質問。とても難しい質問です(苦笑)。図書館もどンドン民間による運営が広がっています。いろいろなアプローチを探してくださいね!

大久保図書館ティーンズコーナーの記録
(2005年7月から2019年8月)
ティーンズレター発行 vol.1~42
テーマ展示回数 55回
ワンテーマアンケート回数 43回

ティーンズレター第44号はいかがでしたか? 次号は別棟開館にあわせて紙面をリニューアルしようかしら! 【(コロ)】【(おもち)】



WELCOME TO DOKKUN'S GALLERY





TEENS CORNER BOOK NABI

これを読め

2019年間にティーンズコーナーに仲間入りした本の中から担当者イチオシの本をご紹介します!



『国旗大好き!』 世界国旗博学クラブ/著 PHP 研究所

いよいよ東京オリンピックが間近に迫ってきました!世界中の人々が日本へと集結し、その中で様々な国旗を目にすることも多くなりますね。ちなみにですが、私はどの国がどの国旗なのか、ほぼほぼ答えられない自信があります!(´E`)キリッ(←司書失格)そんな私に共感してくれるティーンズのみなさまにおススメしたいのがこちらの本です。国旗のデザインや色には、その国の歴史や宗教、思いや願いが込められています。国旗からその国や人々を知ること、来たるオリンピックもさらに楽しめるかもしれません。



『文房具語辞典』 高畑 正幸/著 誠文堂新光社

この辞典では、普段みなさんが使っている文房具はもちろん、「キン肉マン消しゴム」などのマニアックな製品や、「紙で手を切る」「交換日記」「シャープペンシル禁止」「ToDo リスト」といった意外なものまで、カラーイラスト付きで説明されています。今度は何がでてくるだろう!とワクワクしながらどんどんページをめくってしまいます。ほかにも「文房具の基礎知識1~9」や「トピア雑学1~8」「Stationery column1~6」など雑学や豆知識が盛りたくさんです。知れば知るほど面白い文房具の世界へようこそ。



『モーツァルトとコーヒータイム』 ジュリアン・ラシュトン/著 三元社

「コーヒータイム人物伝」シリーズのうちの1冊。コーヒー☕片手にリラックスしながら、想像上のインタビュアーが、架空の偉大なる作曲家モーツァルトさんにインタビューをしていきます。(モーツァルトさんはビールのような🍷)「モーツァルト…有名だけど作曲家ということくらいしか知らない」そんなあなたも大丈夫!はじめに簡単な伝記が記されており、彼がどんな人生を送ったのかおおまかに分かります。もっと詳しい内容はぜひおしゃべりの中で教えてもらってください。インタビューは完全なフィクションですが、歴史的な事実に基づいて構成されたシリーズとなっています(^_^)



『脱・呪縛』 鎌田 實/著 こやま こいこ/絵 理論社

私たちはあらゆる種類の、そしていくつもの呪縛を感じながら日々の生活を送っています。もしかすると、呪縛を受けるだけではなく、知らず知らずのうちに呪縛をかけてしまっていることもあるかもしれません。身近な誰かに、または自分自身に…。そんな誰もが抱える“呪縛”の息苦しさを、軽くしたい。そんな筆者の思いから生まれた脱・呪縛の指南書です。医師であり作家でもある筆者の生い立ちや経験をもとに、まわりつく呪縛から心を解放つヒントを伝授します。



『はんぶんこの、おぼろくん』 犬飼 鯛音/著 KADOKAWA

小春は隣の席のおぼろくんを恋をした。直接話をしたことはないけれど、ガラス窓に映るおぼろくんの姿を見たり、おぼろくんとその友人・鈴木くんの会話を盗み聞きするだけで満たされていた。

そんなある日、そろそろ髪を切ってもらおうと兄の美容室に向かう途中で、小春は衝撃的な光景を目にしてしまう。それは、ロングヘアのつけ毛に赤い口紅、そして白いワンピースを着た、おぼろくんだった…。

おぼろくんを見つめ続けた小春の切ない初恋とあたたかい友情の物語。



『呪われ陰陽師 賀茂斎の千年越しの憂鬱』 藤崎 都/著 KADOKAWA

「貴様何をしに来た!?今度は俺にどんな呪いをかけるつもりだ!」友人に付き添って占い師を訪ねたところ、顔を見るなり見ず知らずの男に暴言をはかれ門前払いされた楓たち。実は彼こそが陰陽師の末裔で、腕利きの“まじない師”である賀茂斎だった。驚くことに前世で恋人同士だった2人は周囲の妨害により破局し、裏切られたと思った楓の前世「夕星(ゆうずつ)」により斎の前世「秋行」は呪いをかけられたのだという。来世では女子にもてないという誰にも解呪できない超強力な呪いを…。前世とは真逆な性格に育った、猪突猛進な楓と陰キャの斎の依頼解決ストーリー。



『教室が、ひとりになるまで』 浅倉 秋成/著 KADOKAWA

1か月の間に3人もの生徒が校内で自殺した。1人は首を吊り、2人は屋上から飛び降りた。不可解なのは、3人が同じ文の遺書を残していたことだった。クラスメイトの自殺にショックを受け不登校になってしまった白瀬。同じマンションに住む垣内は、先生に頼まれて彼女の様子を見に行くことになった。そこで白瀬はこんな事を口にする。「3人も自殺じゃない。みんなあいつに殺された」。3人は自殺ではないのか?それならば、犯人は誰なのか?ページをめくる手が止められない校内ミステリー。



『目を見て話せない』 似鳥 鶏/著 KADOKAWA

人との会話が苦手で相手の目を見て話せない、真のコミュ障を自認している藤村京(ふじむらみさと)。大学の新入生ガイダンスでの自己紹介も失敗し、落ち込んでいる間に取り残された教室で、貧乏学生が多いことで知られる大学には不自然な1本3万4560円のブランド物の傘が置き忘れていることに気付く。人に話しかけられない京は、先ほどの自己紹介の記憶から推理のみで持ち主を見つけることに!

人との会話にはオドオドなのに心の中では饒舌で、推理ならスラスラしゃべれる主人公のギャップが面白く、5話短編形式なのでサクサク読めますよ。

